

表題 ニューズレター

発行所

**日本歯科色彩学会**

発行人 久光 久  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
昭和大学歯学部 歯科保存学教室  
日本歯科色彩学会事務局  
TEL 03-5498-1957

**第18回日本歯科色彩学会総会・学術大会のご案内**

今回、第18回日本歯科色彩学会を担当することとなりましたので、ひとことご挨拶とご案内を申し上げます。本学会は、皆様をご存じのように、歯科における色彩を科学するユニークな学会で、会員は歯科の色々な多くの科に所属し、また、一般の色彩学の専門家も参加する学際的な学会であります。

色は生活においても、歯科の臨床においても、切っても切れない身近な者であり、多くの方が関心を寄せられております。この様な背景から、色彩に興味を持たれている方々に、今回の学会が少しでもお役に立てればと考え、教室員一同で、準備しております。

本大会の内容については未定な部分もありますが、これまでに決まったことについて概略紹介したいと思います(ホームページ-<http://www.jacd-dc-jp/18/> に学会案内が掲載されていますのでご参照ください)。

会期：2010年7月23日(金)～24日(土)

7月23日 13:30～常任理事会

15:30～理事会、評議員会

16:30～特別講演：「『比較可能性』を再考する」

飯島洋一先生(長崎大学大学院)

18:00～会員懇親会(是非ご参加を。安くて楽しい会を目指します)

7月24日 9:00 開演

9:05～総会

9:35～一般講演、ポスター発表

午後には 講習会(必修B、応用)を予定しております。

会場：東京医科歯科大学歯学部特別講堂・講義室

演題申し込み：2010年5月(〆切り予定:5月末日)

以上のような計画ですので、多くの皆様の学会参加をお待ち申し上げます。

大会長 天笠光雄 大会準備委員長 道 泰之

## 総務関係報告

1. 会員数について (2010年1月現在)  
一般会員：211人 名誉会員：4人 賛助会員：9社  
会費未納者数：77名 1年：16名 2年：33名 3年：28名 会費納入率：64%
2. 会務  
2009年9月30日：ニュースレター発行 (No48)  
10月19日：平成21年度第3回常任理事会 (昭和大学歯科病院Dゼミ室)  
2010年1月30日：編集委員会 (原宿)  
1月30日：平成21年度第4回常任理事会 (原宿デンタルオフィス研修室)  
1月17日：見学会委員会 (原宿デンタルオフィス 山崎長朗先生)  
3月05日：編集委員会 (青学会館)

## 編集委員会報告

「歯科の色彩」学会誌はどの程度知られているのだろうか。フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』では既に本学会が登録されている。その内容で機関誌の発行は年一冊と紹介されている。因みに色彩という名称のつく学会誌は他に日本色彩学会が発行する「日本色彩学会誌」をおいて他にない。

今号、Vol.16No.1も池見宅司編集委員長により2010年3月末に発行された。原著論文6編および第17回総会・学術大会におけるプログラム抄録を含む内容で、誌面を一層盛り立てられています。今号の中から2010年度の優秀論文賞に該当する論文発表者が来たる7月23日から開催予定の第18回総会・学術大会で公表されると思いますが今から楽しみです。

ところで編集委員会が今年は都内の青山学院大学敷地内にあるレストラン会議室で二度にわたり開催されました。編集委員総出による数度の校正を行いました。それでも完全と言うわけには行かず誤植のあることを後日お伺いしました。一委員として改めて重責を感じました。今回編集委員会作業の珍しい画像を掲載させて頂き学会活動の要である裏方の作業をご紹介します。ご覧頂ければと存じます。

文責：元呑昭夫



## 認定審査会報告

昨年度は認定士制度発足初年度に登録された先生方が初めて更新の年を迎え、16名の先生が更新されました。また、新規では2名の先生が認定士審査に合格されました。認定士の皆様が日本歯科色彩学会でご活躍されることを期待しております。

認定士の申請は随時受け付けております。歯科色彩学をご研究され、申請要件を満たされる先生方に

おかれましては、是非ご申請頂きますようお願い申し上げます。

認定審査会 委員長 阪 秀樹

## 見学会委員会 平成21年度見学会 原宿デンタルオフィス見学会開催される

平成22年1月30日(土)午後2時30分より、東京・青山にある原宿デンタルオフィスの見学会が開催されました。今年度の見学会は、東京S J C D最高顧問・会長、S J C Dインターナショナル会長で、世界的にも著名な臨床家である山崎長郎先生の新しい診療室を、待合室・オペ室・技工室を含め院内設備すべてを見学させていただき、さらに修復治療に対する考え方を講演していただくという画期的な企画でした。

当日の参加申込は33名であり、まずは山崎先生直々に院内を案内していただきました(写真1)。表参道の旧オフィス立ち退き料を使ったという新診療室は、CT、マイクロスコープ、CAD・CAMが完備され、観葉植物から飾られる絵まで、色彩学的にも配慮された大変美しいオフィスでした。写真撮影もOKしていただきましたので、参加者はさかんにシャッターを切っていました。

引き続き会場を表参道の青山ダイヤモンドホールに会場を移し、講演会と懇親会が開催されました(写真2)。「修復治療の新たな展開」と題して、審美の要点を、基礎から最新のCAD・CAMまで、時折ジョークを交え、わかりやすくコンパクトに解説していただきました。質疑応答も活発に行われ、参加の臨床家はもとより学校関係者・歯科技工士・とくに若い歯科医師の方々にとって刺激的で有意義な機会であったと思います。最後になりましたが、院内案内から講演のみならず、常任理事会開催にもご高配をいただいた山崎長郎先生に厚くお礼申し上げます。(見学会委員会・中澤 章記)

### 修復治療の新たな展開

山崎 長郎

現代の歯科修復治療には、マテリアルの革新・開発により大きな変化がもたらされている。しかも、その発展と進歩の速度は、私達の予想を遥かに超えるものとなっている。

一方、患者サイドにおいても、様々な媒体・分野から情報・知識を得て、従来の修復治療より更に一歩進んだ審美性を望む声が高まりつつある。

我々歯科医は、これらの変化しつつある状況を確実に把握し、新しい世紀の新たな審美修復治療の形を確立していかなければ、この21世紀に取り残されることになるであろう。

歯科修復治療のステップアップを目指す先生方の為、最新の審美修復治療の手法と背景が、過去の修復治療からどの様に変化してきたか、それに付随する治療計画の変更はあるのか、また、使用するマテリアルの正しい選択法・使用法などを中心に、あらゆる角度から新世紀にふさわしい修復治療を解説し

ようと思う。

State of Art Esthetics

卓越した審美性の創出

Restorative Update

最新のマテリアルとその問題点

## 平成 21 年度 歯科の色彩学会見学会に参加して

日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座 平山聡司

平成 21 年度の見学会は、東京 S.J.C.D.最高顧問、S.J.C.D.国際会長である山崎長郎先生の「原宿デンタルオフィス」を見学し、さらに「審美治療の新たな展開」と題した講演まで拝聴できるといった会員にとっては珠玉の内容であった。まず、感動したのは洗練された先生のオフィス環境である。「審美治療を行うには環境整備が欠かせない」とおっしゃる言葉通り、明るくやさしい色で統一されたオフィスは待合室から診療室・オペ室の全てに渡り清潔感に溢れ、患者のプライバシーに配慮したレイアウトと相まって既存の歯科医院の概念を超越するものであった。また、院内には審美治療に必要な歯科における新・三種の神器と先生が呼ぶ、マイクロスコープ、CAD/CAM、デンタル CT など最新の診療器機が備えられており、診療パートナーである歯科技工士や歯科衛生士をととても大切にされていることを聞くにつけ、患者さんに最高の歯科治療を提供しようとする先生の情熱の迸りが強く感じられる「原宿デンタルオフィス」であった。

その後の講演では、審美修復治療を行うための口唇と歯の関係、歯の評価など審美に必要なクライテリアで問題分析することの重要性を教えて頂いた。さらに山崎先生が分類した審美修復法と材料の分類を基に、コンポジットレジン、ラミネートベニアなど最適なマテリアルをどのように選択したらよいかを豊富な臨床症例を用いて講演して下さいました。特に、オールセラミックスについては、各製品の特徴と症例を分かりやすく解説して頂いた。機能追及の治療から変換し審美治療の確立が時代の要請であると訴える先生の講演を聞いて、時間に追われ、学生の臨床実習に追われながら日々診療を行っている筆者にとって、診療スタイルをリセットするとても大切な機会を得ることができた。講演を終えて会場から歩み出たとき、冬枯れの表参道に広がる光彩がことのほか輝いて見えたのは筆者だけではなかったと思う。文末ながら、素晴らしい見学会を企画・運営して下さいました見学会委員長中澤章先生はじめ関係各位に心から感謝致します。



# 日本歯科色彩学会 平成21年度 第4回常任理事会 議事録(案)

日時：平成22年1月30日(月) 13:30~14:20

場所：原宿デンタルオフィス研修室

## I. 開会

池見副会長から開会の挨拶があった。

## II. 会長挨拶

久光会長から挨拶があった。

## III. 平成21年度第2回常任理事会議事録確認(星野)

## IV. 報告事項

### 1. 総務・会務報告

東光常任理事から、現会員数、会費未納者数についての報告があった。

### 2. 財務報告

向山常任理事不在により次回の常任理事会で報告。

### 3. 編集委員会

池見副会長から以下の報告があった。

- ・「歯科の色彩」16巻は論文6編、総説1編。
- ・受理証、掲載証明書について体裁を整えた。
- ・投稿票について(年齢制限)。
- ・二重投稿の注意について(数年間掲載する)。
- ・17回大会の抄録集を掲載する。
- ・抄録集を今後CD化にしていきたい。
- ・巻頭言は阪常任理事、総会・学術大会のご案内は池見副会長が担当する。
- ・賛助会員の会費免除については検討中(クインテッセンスの件)。
- ・細矢常任理事から認定士更新する際に開業医の先生が更新の手だてとして、学会誌に載ったものは業績としてカウントしてはどうかという意見があった。

### 4. ニュースレター委員会

片山伊監事不在により会長から次回発行のニュースレターについての報告があった。

### 5. ホームページ委員会

木暮常任理事から以下の報告があった。

- ・ニュースレターのバックナンバーおよび見学会の要綱について
- ・歯学系学会協議会のホームページとの相互リンクについて
- ・常任理事会連絡用メーリングリストについて委員会連絡用メーリングリストは現状維持、ニュースレター委員会用のメーリングリストは新規に開設した。
- ・第18回日本歯科色彩学会総会用ホームページとメールアドレスについて
- ・平成21年2月から平成22年1月までの学会ホームページ利用状況について

### 6. 講習会委員会

講習会講演担当の変更について

必須コースB：講演者；中山 友克先生

タイトル：歯科技工物の色再現

応用コース：講演者；山本智史先生

タイトル：色彩・分光画像計測とその応用

### 7. 見学会委員会

中澤常任理事より、本日の見学会について報告があった。

14時30分から原宿デンタルオフィスにて見学会、15時30分から原宿ダイヤモンドホールにて山崎長朗先生による講演会(修復治療の新たな展開)が行われ、その後同会場で懇親会が開催される予定とのこと。

### 8. 表彰選考委員会

池見副会長から以下の報告があった。

学会賞・論文賞について

9. 認定士委員会→中山先生のメール  
会長から認定士2名、更新についての報告があった。
  10. 会則検討委員会  
池見副会長から二重投稿についての報告があった。  
会長から会則3条の教室名変更について
  11. 第18回学術大会  
道大会準備委員長から以下の報告があった。  
開催日：2010年7月23日～24日  
会場：東京医科歯科大学 4階 特別講堂  
大会長：天笠光雄（東京医科歯科大学医歯学総合研究科 教授）  
発表形式、（一般口演、ポスター発表）について  
演題抄録の提出期限日：5月31日
  12. 第19回学術大会  
会長から詳細は次回の常任理事会で報告。
  13. その他  
会長から18回の総会で新役員や新事務局について承認をもらいたいとのこと。
- V. 審議事項
1. 表彰選考細則について  
細則は総会の前に常任理事会で事前承認されたいとのこと
  2. 機関誌・ニュースレター  
池見副会長から見学会の記事の掲載について
  3. ホームページの目的と範囲及び管理運営に関する規約  
次年度に審議する  
順次常任理事会で審議したいとのこと
  4. 留学等の会費扱いについて  
留学についての会費は全額払うことで審議された。  
機関誌は大学経由で送付することとなった。
  5. 次回開催日程 平成22年5月24日か25日についてアンケート調査を行ってから決定する。
- VI. 閉会

## 色彩に関連する学会の動向

日本色彩学会は、国際色彩学会(略称;AIC)24カ国のうち我が国を代表する構成団体であり、色彩に関する学術・技術・芸術を研究し、知識を交換し、その発展ならびに普及を図ることを目的に活動している。

AIC(International Colour Association)は、4年に一度国際大会を開催し、1997年は第8回 AIC Color 97を京都で開催した。当時、日本歯科色彩学会、常任理事の故潤田好和先生と京都国際会議場において、知古のブラジル歯科測色器の開発者と再会し、歯冠色の発表で一緒したことが思い起こされる。ところで2015年5月下旬、AIC中間会議が東京、神奈川、千葉のいずれかで開催されることが、去る2010年5月16日の日本色彩学会岐阜大会、総会で決議された。5年後に開催される国際色彩学会では歯科の色彩に関する研究が発表されることを期待したい。開催等の詳細は<http://www.aic-color.org/>を参照。

日本照明委員会 国際色彩学会は国際照明委員会(commission internationale de l'éclairage)と密接で社団法人日本照明委員会が日本の代表機関である。測光、測色の他、演色性など色彩に関係する規格制定機関として規格が多数刊行されている。ちなみに CIE 色関連の規格は JIS に採択されているが測光、測色などの規格は ISO でそのまま採択される。昨今取り上げられことの多い話題として LED 照明の規格制定に関する世界規模での動向が注目されるが、日本照明委員会は2017年の CIE 中間大会あるいは2019年 CIE 大会は日本での開催を予定している。第27回 AIC 国際大会は、アルゼンチンで開催される。

詳しくは<http://www.aic2010.org/>を参照。

## 編集後記

学会へ入会する目的は、学術大会における研究発表また他学術誌や大会に参加し知恵・知識を得ることにはじまる、と言っても過言ではない。さらに面識と交流を深め専門的な対象について関心のある会員相互の意見交換へと発展する。学会あるいは年に一度そうした活動を提供する場所も学会のもつ特徴でもある。学会活動は、総務・事務局の他に総会・学術大会の開催、論文機関誌、研究見学会、ニューズレター、ホームページの運営など多くの委員によって運営提供されている。

日本歯科色彩学会は、歯科の色彩の領域ですぐれた先人を抱え歯科色彩学会認定士の制度を設けることができるようになった。十数年を経て、歴代会長はじめ会員の歯科色彩に対する思いが結実した成果であることを誇りに思っている。

ここで、ニューズレター編集を担当されていた本学会監査の片山伊九右衛門先生は体調を崩された。急遽かわって委員の斉藤誠、元呑昭夫が編集に携わり、会員の先生方から寄せられた原稿をまとめ発行することができた。発行が予定より遅くれたが、さいわい詳細な手順を片山伊九右衛門先生のご手配でリュウワ印刷へは原稿手配のみで済ますことができた。

編者委員:斉藤誠、元呑昭夫